

新除草・調節剤

ハービエース[®]液剤 ピアラホス除草剤

(取扱メーカー) 明治製菓株式会社

対象作物：桑・花木・日本芝（休眠期）。

成分・作用特性：本剤は、L-2-アミノ-4-〔（ヒドロキシ）（メチル）ホスフィノイル〕ブチリル-L-アラニル-L-アラニンのナトリウム塩を有効成分として32%含有する水溶性液体である。本剤の有効成分は、ストレプトマイセス ハイグロスコピカスに属する放線菌によって産出される醗酵生産物であり、醗酵生産物による除草剤としては世界で初めて実用化されたものである。醗酵生産物は一種の天然物であり、自然界における物質循環の中で代謝、分解されて、土壤残留などによる環境汚染のおそれのない農薬である。

本剤は非選択性茎葉処理型除草剤であり、散布3～5日後に雑草の茎葉部が変色しはじめ、枯死する。除草効果の完成は、雑草の種類、生育条件にもよるが、通常は7～14日を要する。

毒性：医薬用外劇物。急性経口毒性は原体ではラット雄で268 mg/kg、雌で404 mg/kgであり、製剤ではラット雄で2500 mg/kg、雌で3150 mg/kgのLD₅₀値を示す。魚毒性は、コイTL_m(48時間)6.8 ppm(製剤)を示し、B類

である。

使用方法：本剤は畑地一年生雑草に対し、これらの雑草生育期に10a当り300～500 mlを100～150 lの水に希釈し、雑草全体によく付着するように散布する。

使用上の注意：あらゆる植物の緑色部分を枯殺するので、風向きなどに注意して、雑草以外の作物にかからないようにていねいに散布する。散布直後の降雨は効果を減ずるので、天候をよく見きわめてから散布する。生育中の芝には薬害を生ずるので、使用しないこと。また、芝の休眠直後や萌芽期に近くなってからの散布では、萌芽抑制などの薬害を生ずることがあるので、芝が完全に休眠している時期に散布すること。

安全使用上の注意：作業中は、マスク・手袋・長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。原液は刺激性があるので、眼に入らぬように注意すること。万一、眼に入った場合は、直ちに清水で十分に洗眼し、医師の手当を受ける。原液が皮膚に付着した場合は、石鹼で十分に洗い落とすこと。散布液は眼に刺激性があるので、万一、異常を感じた場合には直ちに清水で十分に洗眼すること。作業後は、顔など露出部分を石鹼でよく洗い、うがいをするともに洗眼する。なお、本剤を貯蔵する場合は、密栓して直射日光を避け、冷涼な場所へ貯蔵し、鍵を掛けて保管すること。

本誌掲載原稿の募集

本誌を愛読されている皆様より、原稿を募集しておりますので、ご寄稿下さい。内容は、除草剤・生育調節剤に関する記事であればよく、400字詰原稿用紙で20～30枚位、図・写真の挿入も可。原稿料は、当協会の規程によりお支払いいたします。